

令和3年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 3月予報

【イチゴ】ハダニ類

一部ほ場で発生が認められます。気温が上昇するにつれて増加しやすくなるため、葉裏をよく観察し、早期発見に努めてください。天敵導入後でもハダニ類の発生が抑制できない場合は、薬剤による防除を徹底してください。

【トマト】タバココナジラミ

調査ほ場に設置した黄色粘着板の誘殺数は平年より多く、気温の上昇とともにさらに増加すると予測されます。薬剤による防除を徹底してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(3月)

| 作物 | 病害虫名 | 3月(予測) | 発生状況及び今後の予測 | 2月(発生量) | 防除上の注意事項 |
|------|--------|--------|---|---------|---|
| イチゴ | 灰色かび病 | 少 | 調査ほ場では発病は認められない。降水量は平年並と予測され、悪天候が続く場合は注意する | 少 | <ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 枯死した花卉や果梗部、発病部位は見つけしだい除去し、被害の発生を防ぐ。 ・ハダニ類 古葉や果柄などを除去し、薬液が葉裏まで十分かかるよう丁寧に散布する。防除薬剤は同一系統の連用は避ける。 |
| | うどんこ病 | やや少 | 調査ほ場では発病は認められないが、気温の上昇とともに増加が予測されるため、特に秋期の発生ほ場では注意する。 | 少 | |
| | ハダニ類 | 多 | 調査ほ場で発生が認められる。気温の上昇とともに、さらに増加すると予測される。 | 多 | |
| | コナジラミ類 | やや少 | 調査ほ場では発生は認められない。気温の上昇とともに増加が予測される。 | 少 | |
| トマト | 灰色かび病 | 少 | 調査ほ場では発病は認められない。降水量は平年並と予測され、悪天候が続く場合は注意する。 | 少 | <ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。 |
| | コナジラミ類 | 多 | 調査ほ場で発生が認められる。気温の上昇とともに、増加が予測される。 | 多 | |
| キュウリ | 褐斑病 | 少 | 調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種では発病に注意する。 | 少 | <ul style="list-style-type: none"> ・べと病 過湿時には発病が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。 |
| | うどんこ病 | 少 | 調査ほ場で発病が認められる。罹病性品種では発病が多くなるおそれがある。 | 少 | |
| | べと病 | 少 | 調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種では発病に注意する。 | 少 | |
| | アザミウマ類 | やや少 | 調査ほ場では発生は認められないが、気温の上昇とともに、増加が予測される。 | 少 | |
| | コナジラミ類 | やや少 | 調査ほ場では発生は認められないが、気温は上昇とともに、増加が予測される。 | 少 | |

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ:濃姫、美濃娘 トマト:麗妃、りんか409、かれん キュウリ:ニーナ

イチゴ アザミウマ類

施設イチゴ栽培において、アザミウマ類の発生が一部ほ場で見られます。

アザミウマ類は花に寄生し、果皮を褐変させたり、種浮き果を生じさせたりして、果実の商品価値を失わせます。

気温の上昇とともに活動が活発になりますので、発生状況に注意し、増加する前に防除を行いましょ。



図 イチゴの花に寄生するアザミウマ類

数値データ (岐阜・西濃地域2月調査)

| イチゴ | | | |
|--------|-------------|------|--------|
| 灰色かび病 | (発病果率) | 0 | (0.0) |
| うどんこ病 | (発病株率) | 0 | (0.3) |
| ハダニ類 | (寄生株率) | 25.3 | (8.1) |
| コナジラミ類 | (寄生株率) | 0 | (1.3) |
| トマト | | | |
| 灰色かび病 | (発病果率) | 0 | (0.1) |
| コナジラミ類 | (誘殺頭数) | 1.88 | (1.01) |
| キュウリ | | | |
| 褐斑病 | (発病葉率) | 0 | (0.0) |
| うどんこ病 | (発病葉率) | 0.1 | (0.3) |
| べと病 | (発病葉率) | 0 | (0.0) |
| アザミウマ類 | (寄生頭数/100葉) | 0 | (0.0) |
| コナジラミ類 | (寄生頭数/葉) | 0 | (0.0) |

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ()内数値は平年値 果率、株率及び葉率は%

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(2月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

=施設栽培の病害虫について=

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

=東海地方1か月予報=

(名古屋地方気象台 2月24日発表)

向こう1か月の気温は平年並~高く、降水量及び日照時間は平年並の予想です。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。山間部では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード